

くじ番号による決定方法（郵便入札）

1 くじ番号

入札参加者はあらかじめ3桁以内の任意の番号(くじ番号)を、入札書の右下枠「くじ番号」欄に記入してください。くじ番号の記載がない場合は「999」を割り当てます。

2 余り番号

落札者となるべき同一価格の入札参加者(くじ対象者)は、入札書提出の受付順に0(ゼロ)から1、2、3・・・と、番号(余り番号)を割り振ります。

※抽選番号は0(ゼロ)から始めるため、くじを行う業者の数よりも常に1少ない数字を上限にして割り当てられる。

3 落札者の決定

落札者を決定する番号(以下、「当選番号」という。)の算出は、入札書に書いた「くじ番号」を使用して決定する。方法は次のとおり。

- ① 同額入札の入札書に記載された任意の「くじ番号」を合計する。
- ② その合計額を同額入札者の数で割り、「余り」の数を算出する。この「余り」の数字を落札者決定の「くじの当選番号」(以下、「当選番号」という。)とする。

○計算例 4者が同額となった場合

①入札書に記載された番号

A社(提出順 1)・・・130
B社(提出順 2)・・・430
C社(提出順 3)・・・825
D社(提出順 4)・・・430 とする。

②当選番号判定の付番(受付順から付番、0から付番)

A社(提出順 1)・・・0 が当選番号
B社(提出順 2)・・・1 が当選番号
C社(提出順 3)・・・2 が当選番号
D社(提出順 4)・・・3 が当選番号

③当選番号の算出

$$(130 + 430 + 825 + 430) \div 4 (\text{業者}) = 453 \text{ あまり } \mathbf{3}$$

当選判定番号は「**3**」。よってD社が当選。(落札者)

【くじ結果表】

会社名	提出順	くじ番号	当選判定番号 (余り番号)	落札者
A社	1	130	0	
B社	2	430	1	
C社	3	825	2	
D社	4	430	3	○